知立市立知立中学校による

オリジナル指導案

知中デザインスケッチブック

教材名(　教科書教材　「段ボールベッドへの思い」　)　　　授業クラス(　２年１組、３組、６組　)　　授業者（各担任）

|  |  |
| --- | --- |
| ステップ１　　教材研究を通して、「この授業だからこそ設定できるねらい」を考えよう | ①　まずは教材を読み、「あらすじ」「考えるポイントとなるところ」「自分が読んでいて考えさせたいところ」などを書きだしていこう。 |
| 本教材は、段ボールを作る会社に勤務する方の話から、勤労の尊さや意義を考え、働くことを通して社会に貢献することの大切さに気づいていく内容である。会社の方から、非常時に使用できる段ボールベッドを考案し、避難者の二次的健康被害や震災関連死の予防に役立っている話を聞く。ベッドや設計図の無償提供のことも知り、働くことには、利益を出して収入を得ることだけでなく、他にも大切な思いが込められていることに気づく。・実在する会社　Jパックス　水谷社長がダンボールベットを考案・会社の利益を度外視してまで、無償化にするべきだったのか？　→ライスセンス料をとれば、多額の利益がでたかもしれない…・多くの大人が仕事に「思い」を込めている。・生徒の身の周りにある物（製品）にもつくった人の「思い」がある。・葬儀会館ティアの社長「働くとは、与える側になること」 |
| ②　その教材を使って、どんな内容項目で授業を行うか、まとめよう |
| 内容項目：　　C　（１３）　勤労　学習指導要領解説の内容項目（概要・指導の要点）では、「勤労の尊さや意義を理解し，将来の生き方について考えを深め，勤労を通じて社会に貢献すること。」と記されている。「働く」＝「お金を得ること」＋「〇〇〇〇〇」←空白の部分に自分なりの思いを込めたい。働くことの意義…勤労を通して、社会に貢献することやその中で得られる達成感や充実感。いろんな働く意義（人によって様々）・働くことは自分を広げる　・働くことは自分を生かす　・働くことは他の人に喜びを与える・働くことは他の人から喜びをもらう　・働くことはみんなと共によく生きようとする人は、働くことによって、〔社会〕で 自分の足場を確保することができる。そして、 そこにいる人や〔社会〕を支えることができる。 |
| ③　この教材だからこそできる内容項目に沿ったねらいを考えよう。 |
| ダンボールベットを広めた会社の「思い」を考えることで、身近な仕事には、働く人の様々な思いが込められていることに気付き、人は働く意義をもつことで、充実した生き方につながっていくという道徳的心情を育てる。 |
| ④　授業が終わった後、生徒の感想の内容や、日常生活で期待する姿を考えよう |
| ・総合の夏休みの課題なども振り返り、身近な大人に自主的に働く思いを聞き取った生徒がいれば、学級や学年で共有する。・自分の仕事（当番や委員会）に思いを込めて熱心に活動する姿をハートフルワードで共有する。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ステップ２　授業展開をデザインしよう |  | 発問・子どもの活動・子どもの反応 | 全員参加のための支援・道徳的価値を深めるための方法 |
| 05 | 小さな道徳の時間１　困った人を助けるアイデア商品を見せて、その商品から得られた利益を紹介する。２　発問に対する答えと理由をワークシートに記入する。３　教材を読む。 | ・アイデア商品を紹介することで、誰かの役に立つことで、大きな利益を生むことがあることを知る。世の中に困っている人がたくさんいます。あなただったら、人助けができるアイデアを無償で公開しますか？・公開する、公開しない、その他の３件法を用いて選択させ、全員が議論に参加できるようにする。・教材を読む際に、自分が気になった箇所に線を引きながら読ませる。 |
| 053045 | 対話的な道徳の時間４　教材を振り返り、社長や会社の思いに焦点を当てる。・お客さまの要望に応えたい。・被災したときのために、段ボール会社としてやれることを常に考えている。５　教材の話の会社の社長水谷さんを紹介する。仕事に思いが込められているかどうかで何か違いは出てきますか？６　発問に対する答えと理由をワークシートに記入する。・思いがあるのとないとでは、仕事の色々な部分に差が出てくる。・思いがないと、仕事を適当にやってしまうかもしれない。・思いがあった方が、自分から進んで動けると思う。日常の中で誰かのために思いをもって取り組んでいることはありますか？７　発問に対する答えをワークシートに記入する。　・部活のときに、練習時間を生み出すために準備や片付けを率先して行うようにしている。　・教卓に配布物があるときは、係ではないが、進んで配るようにしている。８　本時の授業の感想を書く。・後期の係活動が始まるので、自分から進んで動くことや誰かのためにという思いを大切にしたい。 | ・教材で登場する会社や社長の考えを振り返る中で、「思い」に焦点を当て、主発問につなげるようにする。・段ボールベッドを無償で提供したことやそこに至るまでの経緯や思いを紹介することで、思いに焦点を当てる。・思いの差を考えることで、思いを込める大切さに気づかせる。・生徒の意見を「なぜ？」、「本当に？」という問い返しをすることで、生徒の本音を探る。・補助資料として、身近にある学校の廊下に飾られている花を紹介することで、どんな思いで花を飾っているかを考える。・自分の行動を振り返ることで、普段に何気なくやっていることが、誰かの役に立っていることに気づかせる。・授業全体を振り返って感想を書くことができるように「あなたの周りには、どんな思いがありますか？」と問いかける。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | ステップ３　授業で行ったことが、どのように評価につながるかを考えよう。 |
| ・働く意義について深まったかワークシートや活動の様子から判断する。・「働くとは？」に対する考えの変化をポートフォリオから判断する。 |